

学校運営協議会だより

文責 CS事務局



小学校・中学校の授業においては、タブレット端末の児童・生徒の活用場面が多くなりました。学校運営協議会だよりNo.18では、国の「GIGAスクール構想」が進む中、導入が検討されている「デジタル教科書」について解説したいと思います。デジタル教科書については、中央教育審議会のデジタル教科書推進ワーキンググループが中間まとめを発表しています。

GIGAスクール構想の説明と1人1台端末活用状況を紹介します

文部科学省は、「GIGAスクール構想」として、Society 5.0時代を生きる子どもたちにとって、教育におけるICTを基盤とした先端技術の効果的な活用を進めています。このため、1人1台端末及び高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することにより、「多様な子どもたちを誰一人取り残すことのない、公正に個別最適化された学びを全国の学校現場で持続的に実現させる。」としています。このような構想の中、京極町においても、児童・生徒一人ひとりに端末を貸与し、授業や特別活動・総合的な学習の時間などにおいて活用されています。



既に、デジタル端末は、積極的に活用されています。写真は、数学の授業で練習問題に取り組む生徒の様子です。タブレット端末に直接タッチペンで回答しています。



デジタル教科書の今後のあり方について

デジタル教科書

紙の教科書の「代替教材」との位置づけで、紙と同じ内容をデジタル化したもの。1人1台の学習端末で見られる。文部科学省はが2021年度に配布を始め、昨年度から小5～中3の英語と、算数・数学の一部で使える環境になっている。

現場の声

デジタル教科書の今後のあり方について、全国の小中校長188人にアンケートを実施した結果が新聞で報道されていました。その内容は以下の通りです。

回答した校長の95%が「紙の教科書との併用することを望んだ。その理由は、「紙の教科書はいつでも見返すことができ、理解や(学習)定着にメリットがある」「深く思考するには紙の方が有効だ」紙の教科書の利点を挙げる声が目立った。

読売新聞オンライン 1/16

運営協議会では

昨年第2回運営協議会の小学校部会で、「学び」について話し合う場があり、「書く」ことの大切さが話題になりました。部会の中では、今後、PC等を仕事で使うことからタイピングする力をつけることは大切であり、書くことと両方の力を子どもたちが身につけられると良い。特に、小学生は書くことの大切さ、意味を学んでほしい。という話がありました。



次に、中央審議会で示された論点を紹介します。(1月21日新聞報道)

文部科学省は、デジタル教科書を「正式な教科書」として位置づけることなどを盛り込んだ論点を示しました。中教審作業部会で示された論点は次のとおり

- デジタル教科書の位置づけを教材から「正式な教科書」へと変更する
- 紙の教科書かデジタル教科書かを教育委員会が選択する。
- 紙とデジタルを合わせたハイブリット教科書の形態を認める。
- 教科書と教材の線引きを明確化する



ここで、日本教育新聞の今年5月掲載記事をまとめて紹介します。

紙と併用継続望む声強く デジタル教科書 教育関係団体に聴取

中央教育審議会のデジタル教科書推進ワーキンググループは4月28日、デジタル教科書を正式な教科書と位置づけることとした2月の中間まとめに対する教育関係団体の意見を公表した。各団体からは、紙とデジタルの両方の特徴を生かせるよう併用を続けることを求める意見が目立った。文部科学省は教科や発達段階に応じたデジタル教科書導入の利点を引き続き検討し、年内に最終報告をまとめる。(日本教育新聞記事)

意見聴取には24の団体が書面で提出した。(下記は各団体の意見)

■全日本中学校長会

デジタル教科書を制度とし認め、無償給与とすることを要望。現行の紙とデジタルの併用の継続を要望。

「健康面で安全であることを明示し、デジタル教科書の安全性を検証する必要がある」

■全国都道府県教育委員会連合会

「紙、デジタルそれぞれの教科書に利点があり、さまざまな教育ニーズがある。二項対立ではない柔軟な制度設計が求められる」と指摘。

■全国都市教育長会

「実態に応じて教員や児童・生徒が選択できるようにすることが大切」と訴えた。

■文字・活字文化推進機構

今後、制度化された場合、紙かデジタル、もしくは両方の融合型の教科書のいずれかを教育委員会が選択することとなり、事実上の選択制となる。「国の責任放棄に等しい」と苦言を呈した。デジタルから紙に戻した海外の事例にも触れ、デジタル教科書はこれまで通り補助教材とすることを訴えた。

■日本私立中学高校等学校連合会

「健康への影響をモニタリングし、悪影響が確認された場合には速やかに対応策を講じてほしい」

団体からの意見聴取に併せて実施したパブリックコメントには118件集まった。

デジタルを巡っては、学習効果や健康への懸念が指摘されており、文部科学省は今後、中教審の審議過程でデジタル教科書について、広く意見を募ることを検討しているとしています。

デジタル時代の教科書の在り方については、今後も「学校運営協議会だより」にて紹介させていただきたいと思います。